

3 授業研究と協議会②〈10月指導主事学校訪問〉

国語科【古典B（漢文）】学習指導案

日	時	令和元年10月24日（木）
対象クラス		3年B組
使用教科書		新探求古典B（桐原書店）
教材		進研 WINSTEP 古典3改訂版(Learn-S)
授業者		牛丸 僚子

1 単元名 『新序』～登場人物の主張をつかむ

2 単元の目標

- (1) 登場人物の主張とその根拠を読み取り、作品に描かれている「理想の君主像」を理解しようとする。
【関心・意欲・態度】
- (2) 登場人物の主張とその根拠を読み取り、作品に描かれている「理想の君主像」を理解する。
【読む能力】〈指導事項の(ウ)〉
- (3) 漢文を読むのに必要な語句の意味や句法を理解する。
【知識・理解】〈指導事項の(ア)〉

3 取り上げる言語活動

言語活動：グループで話し合い、課題解決に向けて検討した結果を発表する。

4 本単元で育成しようとする「ことばの力」

課題解決能力を培うために、情報を読み取り、整理する力

5 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
登場人物の主張とその根拠を読み取り、作品に描かれている「理想の君主像」を理解しようとする。	登場人物の主張とその根拠を読み取り、「理想の君主像」を考えることによって、作品を読み深めている。	語句と句法をもとに正確に現代語訳をして、本文の内容を理解している。

6 生徒と単元

- (1) 《生徒の実態》男子15名 女子21名 計36名

国公立4大、私立4大、専門学校、就職と、多様な進路志望の生徒が混在する文系クラスである。漢文に対して苦手意識をもつ生徒も多いが、グループによる話し合いは活発に行うことができる。その一方で、一人ひとりが主体的に自らの学びを深め、読解力の向上を図っていくことが課題となっている。そのために、この授業では、実践力養成のために投げ込み教材を用いて、本文の基礎的な解釈を行いながら、登場人物の主張とその根拠を丁寧に読み取らせたい。そして、そこに現れている「理想の君主像」についての話し合いを主体的に行うことによって、作品の読みを深めさせたい。

- (2) 《本単元（教材）について》

『新序』は前漢の学者劉向が、儒学の立場から、春秋時代から漢代中期までの逸話を分類・編集したものである。「前漢末に成帝に仕えた劉向は、外戚の横暴を見過ごすことができず、『列女伝』『新序』『説苑』を上奏し、もって天子を戒めたという」、『研究資料漢文学9歴史Ⅲ』明治書院。文中で、登場人物の李離は自らの主張を貫き自害するが、『邦の司直（法によって善悪の判断を下す人）』として評価されている（『中国古典新書 新序』広常人世 明德出版社）。自らの死をもって臣のあり方・君のあり方を説いた李離と、このような文章を上奏することで当時の政治を正そうとした劉向の意図を考えさせ、当時の理想の君主像とはどのようなものであったのかを考えさせたい。更に、現代に求めら

れるリーダー像と共通点がないかを考えさせ、古人の考えが現代に受け継がれていることに思いを至らせたい。

(3) 《(1) (2) を受けた、本単元の指導について》

本校はスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定校として、理数系科目のみならず、全科目において「問題解決能力」の育成に主眼を置いた授業のモデル作りに取り組んでいる。国語科では「問題の発見→情報の収集・共有→考察」を意識した授業を実践しており、本単元もこの流れに則って行いたい。

指導については、生徒個々によって読解力に差があるため、読解の担当をグループごとに割り当て、個人で考えることと、グループで確認し、全体発表によって振り返ることを繰り返させ、深い学びにつなげたい。

7 全体計画 (総時数 5 時間)

- ・ 1、2 時間目…正確に音読し、書き下し文にすることを通して、文章の概要を把握する。
- ・ 3、4 時間目…現代語訳を通して、登場人物の主張とその根拠を把握する。
- ・ 5 時間目…編者劉向が示したかった「理想の君主像」を考え、共有し、発表する。

8 本時の計画 (本時 5 / 5 時間)

(1) 本時の目標

考察したことを発表したりまとめたりすることを通して、編者劉向がこの文章で示したかった「理想の君主像」について読みを深める。 【読む能力】

(2) 学習過程

過程	生徒の学習活動	学習形態	教師の支援	評価基準 (評価の方法)
導入 10分	1 本時の目標と学習の流れを確認する。 2 ペアで交互に音読する。 3 クラスで斉読する。	全体 ペア 全体	・本時の目標の達成に向けて、グループ活動の流れや動きを確認するよう指示する。	
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">編者劉向が示したかった、理想の君主像とは？</div> 4 グループ内で付箋に書いてきた考えを紹介し、ワークシートに1つにまとめる。 5 クラス全体で発表する。	グループ 全体	・一人三つ以上、付箋に書いてくることを前時に課しておく。 ・ワークシート(クラゲ・チャート)に付箋を貼り、それをもとに「理想の君主像」を一言で考え、示すように指示する。 ・現代のリーダー像に重なる部分があるか、考察を促す。 ・まなボードを黒板に掲示して発表する。	優れた君主のあり方について、文中から読み取っている。 【読む能力】 (発表) (ワークシート記述の分析)
まとめ 10分	6 本時の活動で得た気付きと、理解できたこと、何ができるようになったかを、各自の「振り返りワークシート」にまとめる。	個人	・各自の考察の深まりを意識してワークシートに記入するよう促す。	君主像の読み取りが深まっている。 【読む能力】 (ワークシート記述の分析)